

質 疑

被災地特例措置に関する対応案について

○小塩隆士会長（一橋大学経済研究所教授）

ただいまの説明につきまして、ご質問等はございますでしょうか。はい、長島委員、お願いいいたします。

○長島公之委員（日本医師会常任理事）

今回、示された対応案に異論はありませんが、まずは被災地の現状把握をしっかりと行うべきです。

被災地では、復旧・復興に時間を要しているため、避難先から戻りたくても戻れない方がまだまだ2,000人もいらっしゃると聞いております。

現地の医療機関では、地域医療を継続するため、建物や医療機器などのハード面だけではなく、医療従事者の確保にも懸命な取組が現在、行われております。

被災者が家に帰りたいと望まれても、その地域に医療が残っていなければ、結局、お戻りになられることができません。

被災地の医療機関に対しては、地域医療の継続、ひいては被災された方々、避難された方々の生活の継続、再建のために引き続き幅広く特例のニーズを確認して、しっかりと復旧の後押しとなるよう、必要に応じた継続をご検討いただきたいと考えます。私からは以上です。

○小塩隆士会長（一橋大学経済研究所教授）

はい、ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。はい、松本委員、お願いいいたします。

○松本真人委員（健康保険組合連合会理事）

まずは被災地におきまして医療を提供していただいている医療機関の方々を含め、関係者の方々に敬意を表するものでございます。

事務局からのご提案の内容に異論はございません。

今回のアンケートは特例措置の取扱いを検討するための重要な調査という位置づけになりますので、特例措置を活用していただいております医療機関の方々につきましては、ご負担はあるかと思いますけども、回答へのご協力をぜひお願いしたいというふうに思います。私からは以上でございます。

○小塩隆士会長（一橋大学経済研究所教授）

はい、ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。ほかに、ご質問等はないようですので本件につきましては、中医協として承認することによろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、説明のあった件につきましては、中医協として承認したいと思います。

本日の議題は以上となります。次回の日程につきましては、追って事務局より連絡いたします。

それでは、本日の総会はこれにて閉会といたします。どうもありがとうございます。

(配信終了)